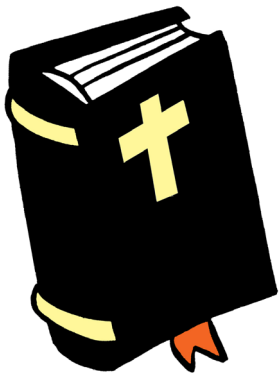


せいしょ きせき ものがたり
聖書の奇跡の物語：

てつのおのを浮かび上がらせる

れつおう きげ だいしやう せつ
(列王記下 第6章 1-7節)



ある時、若い預言者たちがエリシャに言いました。「わたしたちが住んでいるこの場所はせまくなりました。ヨルダン川へ行って、もっと広い家を建てるための木を切ってきてほしいのですが。」

エリシャは答えました。「では、行ってきなさい。」

すると、一人が言いました。「どうか、わたしたちと一しょに来てください。」

それで、エリシャも一しょに出かけて行きました。ヨルダン川に着いて、彼らが木を切りたおしていた時、一人のおのの頭がはずれて水の中に落ちてしまいました。

彼はさげんで言いました。「ああ、ご主人様！ あれは、借りてきたおのなのです。」

神の人が「どこに落ちたのか？」とたずねると、若い預言者はエリシャにその場所を指し示しました。

エリシャは枝を切り落とし、それを水の中に投げ入れました。すると、おのの頭が水面に浮かび上がってきました。エリシャが言いました。「それを拾い上げなさい。」

そこで若者は手をのばして、おのの頭を取り上げたのでした。